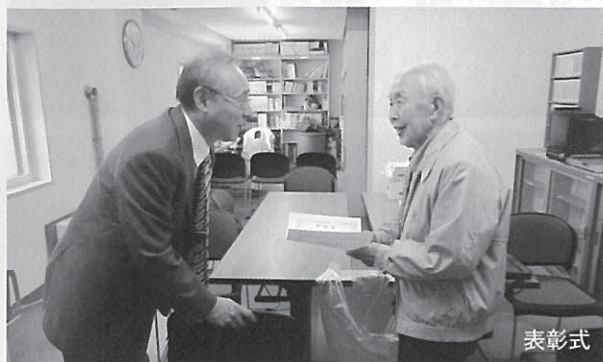


の方が表彰を受けた。来場者の多くはフッ化物塗布を希望しており毎年利用される方もいた。お口の健康度チェックは、18才以上の希望者に対して実施したが、受診者は21名であった。

共催の小樽市保健所はパワーポイントやチラシによりフッ化物洗口について紹介した。(中村悦子記)



美 唄

H23年度よい歯のコンクール

日時：平成23年6月3日(金)午前9時30分より

場所：美唄市保健センター

昨年度11月の3才児対象優秀者86名に対し35名がコンクールに参加した。

皆さんハキハキとしっかりしたお子さんばかりで、口腔内もさすがにむし歯のある子は極めて稀である。

口腔衛生の啓発普及により、お口を大切にすること、歯を丁寧に磨くことは、十分行き渡っているようである。

従来的一次審査、その後の厳選10名による二次審査の区分けは、今回から統一して行うこととした。即ち、従来的一次審査相当の満点通過者には、即その場で下顎Eの舌側面を染め出し、その汚れの程度により清掃状態を判断し最終審査とした。

その結果、中断時間がなくなり、二次審査に選ばれなかった方々が早々のご帰還するというこ

はなくなった。

それゆえ、35名全員参加のもとでの最終発表は活気と熱気のあるものであった。よって、恒例の当会作製の次年度のカレンダーに掲載する写真の撮影も全員を写すのに難儀することとなった。嬉しい悩みではあったが。

染め出しのタイミングと健診、審査の流れの効率化、染め出しのレベル判定の厳格化や待ち時間を利用し、児童によるフッ化物洗口の様子を放映するなど、身近なものとしてもらえるよう工夫するとか、他媒体(DVD、ビデオなど)を活用してさらに口腔衛生知識普及の機会とするなどを次回への反省とし一連の事業を終了した。

今後、学校での活動が難しいなか、このような場を上手に有効に対応していくことの重要性を認識した。(小森英世記)



函 館

歯・口の健康講座

日時：平成23年6月5日(日)午前10時より

場所：函館市総合保健センター2階

「歯と全身の健康」と題して住民向けの講演会を開催した。永坂 信 会長の挨拶の後、3名の講師がそれぞれ違った視点から口腔の健康に関する講演をした。

演題：「タバコについてのお話し」

講師：市立函館保健所 山田隆良所長

冒頭で、函館に赴任した際、本州に比べ喫煙者が多いことに驚いたと語られた。タバコ対策の最終目標は「子どもたちをタバコの害から守ること」であることを強調し、歯・口腔への悪影響を含むタバコの問題点や禁煙活動について豊富な資料を用いて講演した。最後に非喫煙者も喫煙者もタバ